

# 「2018 ホタルの唄とフォーラム」開催報告

日時 平成30年12月15日（土）13:00～  
場所 玉島市民交流センター 湊ホール  
内容 第1部 ホタルの唄・演奏（作陽大学）  
唄：宗包光史郎 氏  
ユーフニウム：原大樹 氏  
ピアノ：橋圭祐 氏  
第2部 ホタルトーク  
パネリスト 家守修治 氏  
岡本 勇 氏  
福田佳代 氏  
コーディネーター 三宅直生 氏  
第3部 みんなで合唱ホタルの唄  
唄：奥野純子 氏  
ピアノ：山岡珠代 氏  
（総合司会：彦田理恵 氏）  
主催 「NPO 21世紀の環境づくりを進める会」  
後援 玉島商工会議所  
NPO法人 黒崎地創研  
NPO法人 岡山環境カウンセラー協会  
地域ボランティア団体 つらレンジャー



第1部 ホタルの唄・演奏（作陽大学トリオ）



第2部 ホタルトーク

## ～玉島の街にホタルを飛ばそう～ 【ベントの目的】

- ①「NPO21世紀の環境づくりを進める会」の活動を広く知ってもらう
- ②ホタルの魅力とその生態を唄と演奏そしてトークショーで伝える
- ③新倉敷駅の近くでホタルが飛ぶことの実現を目指す

上記3点を楽しみながら共有  
さらに、ホタルが舞う玉島の街が実現することにより玉島の自然環境が良いこと、住みやすい街であること、ひいては[NPO21世紀の環境づくりを進める会]の願望である「ホタルの光で“ひかり”を止めよう」を広く啓蒙するため

## 【NPO 21世紀の環境づくりを進める会】とは

「NPO21世紀の環境づくりを進める会」は、平成12年に玉島のまちを愛する人たちが集まって誕生しました。

花あふれる街づくり活動から始まって、ホタルの再生活動に発展しています。

この度、念願の新倉敷駅の近くにホタルが飛ぶためのビオトープの創設にいたりました。

玉島の街が人に優しく、自然に優しい、「誰にとっても住みやすい街づくり」を目指すグループです。



第3部 ホタルの唄 ソプラノ歌手演奏

楽しかった、素晴らしかった、来てよかった、よく分かった、など高い評価をいただきました。

# 概要



受付で配布したカンバッチ

## 【開演および第1部 ホタルの唄・演奏 (作陽大学)】

- ・ 入場者数約100名
- ・ 参加年代：10歳代～70歳以上（70歳以上が62%）
- ・ 参加地域：玉島（44%）、水島・連島（23%）、倉敷（12%）  
その他（広島、岡山、児島、真備など23%）
- ・ 受付でプログラム、カンバッチ等を配布
- ・ カンバッチのデザインは福田夕貴氏  
(倉敷芸科大学 芸術学部メディア映像学科)
- ・ 13時30分から彦田理恵氏の総合司会で開演



## 【第2部 ホタルトーク】

ホタルトークではパネリスト間の打ち合わせを密にし、スクリーンに大きくホタルの映像を投影した結果、わかりやすいものとなり、「一年間のホタルの営みに感銘を受けた」、「観賞時のルール」、「ホタルの生態を知った」、「岡本先生の話は勉強になった」、「身近な場所で蛍が見られるのが楽しみ」等がアンケートに寄せられ、成果が上がったと思われます。

さらに、最後の質疑応答で次のような質問がありました。一つは「学校でのホタル講義のことにに関して」、さらには「百々川（どうどうがわ）でのホタル鑑賞と住民との関係について」でしたが、どちらも家守修治氏が回答し、質問者に満足していただきました。



## 【第3部 ホタルの唄 ソプラノ歌手演奏】

「フィナーレが楽しかった」、「素晴らしかった」という評価が多く、会場全体で「ホタルの唄」を合唱したことで、一体感を持つことになったと思われます。

演奏の評価が高かった歌曲名をあげると、  
①全て ②夏は来ぬ ③えがおの花 でした。

「環境保全をとおした地域づくり」に邁進して、成果をあげている「NPO 21世紀の環境づくりを進める会（岡山環境カウンセラー協会前会長が理事長）」の活動が地域に再認識されるイベントとなりました。



岡山環境カウンセラー協会は福留正治元会長を中心に後援という立場で参加しました！